

NHK大河ドラマ「真田丸」を活用した本市の観光施策について

佐藤 聡



〔質問〕今年、NHK大河ドラマ「真田丸」を活用した本市の観光施策について伺う。

〔答弁〕【市長】秋田県由利本荘市、蔵王町と本市が連携し観光振興事業に取り組むため、みちのく真田ゆかりの地観光振興協議会を設立し、ロゴデザインと阿梅姫などのキャラクターデザインを制作し発表した。

今後、このキャラクターの積極的なPRに努め、商工会議所や商店街等との連携を図りながら、商品開発等に官民一体となって取り組んでいきたい。さらに、観光誘致を図るためのウェブプロモーションとして、イ

ンターネットの宿泊予約サイトで観光情報を発信するとともに、公式ホームページを平成27年度中に完成させた

い。今後、この「真田丸」を追い風として、より一層の観光誘致と交流人口の拡大に努めていきたいと考えている。

〔質問〕「みちのく真田ゆかりの地事業」の平成28年度以降の事業継続、または「真田丸」を活用した新たな観光施策について伺う。

〔答弁〕【市長】みちのく真田ゆかりの地観光振興協議会は、平成28年度も継続し、それぞれの自治体における物産展への出展・商品開発支援・広告・ウェブサイトを運営を予定している。

新たな観光施策とし

ては、「真田丸」企画展、ミュージカルの開催、市民バスへ片倉小十郎重長公と阿梅姫のキャラクターのデザインラッピングなどを検討している。

また、ゴールデンウィークには、大阪城でのイベントへのブラス出演を予定している。

◎白石市の小中学校における主権者教育について

〔質問〕選挙権が18歳に引き下げられるが、白石市の小・中学校での主権者教育について所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】主権者教育は、総務省が先行し、その概念はまだ文部科学省の中ではつきりしていないと捉えている。

小・中学生については、まず国民主権という概念をしっかり持たせたい。子どもたちがそれを考える素地をつくるのが大事だと考えている。

平成28年度施政方針について

松野 久郎



〔質問〕白石市行財政改革推進計画について、平成28年度から取り組む【第三次改訂版】が示されたが、その中で優先的に取り組まなければならない施策について所見を伺う。

〔答弁〕【市長】厳しい財政事情を勘案し、公共施設の計画的な改修、複合化、また、小・中学校の統合推進と学校跡地の有効活用など、人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりを推進することが課題であると認識している。

〔質問〕放射能対策について、除染作業を実施した通学路の事後モニタリング結果について

て伺う。

〔答弁〕【市長】通学路については、毎時0・23マイクロシーベルト以上の場所は5カ所で、結果については、小・中学校長へ説明するとともに、環境省や道路管理者等と協議を進めているところである。

〔質問〕平成28年度予算では、放射能対策事業として予算を計上しているが、今後の具体的な取り組みについて伺う。

〔答弁〕【市長】空間放射線量は、除染等により減少し安定しているが、子ども空間を中心とした37カ所の測定を継続して行う。

食品等については、小十郎の郷に配備した非破壊式機器と連携しながら対応していく。

焼却灰については、焼却灰排出抑制補助金事業を継続して実施していく。

〔質問〕高齢者支援について、地域包括ケアシステムの構築整備を促しているが、市長の目指す構築構想について所見を伺う。

〔答弁〕【市長】最も重要な項目である医療と介護の連携として、白石市医師会を中心として協議を進め、介護サービスの整備として、新たに看護小規模多機能型居宅介護事業所開設などを進めている。

このシステム構築には、市民の協力がなしには成り立たないと考えている。「すべての市民に優しいまちづくり」と考え、各種施策に取り組んでいきたい。

【その他の質問】

◎インフラ長寿命化基金計画について

◎一般会計の補助費等について